

事前のお知らせ



練馬区発！母の日に広がるピンクリボンの輪 フラワーショップで乳がん検診の啓発キャンペーンを実施 ～お母さんへの感謝とともに「乳がん検診メッセージ」を届けたい～

と き 平成29年5月14日(日) 生花店の営業時間(としまえん前は午前10時～午前11時)

と ころ 区内フラワーショップ24店舗、としまえん(向山3丁目)

14日、区は乳がん体験者の会「ピンクリボンin NERiMA」と協力し“母の日”に合わせた乳がん検診の啓発キャンペーンを展開する。

区内のフラワーショップ24店舗で、母の日に贈る花束とともに、乳がん検診受診を促すメッセージ入りのティッシュを配布するもので、今回で3回目。

女性の部位別がん罹患率で、乳がんは最上位である。罹患率が急激に高くなる40～50歳代は、子育てや仕事で忙しく、検診には足が向きにくい傾向がある(平成27年度受診率:24.6%)。



▲協力生花店の様子

そこで、区は受診率向上のために同会と協力して、母の日啓発キャンペーンを行うこととなった。

開始時に、7店舗だった協力店は、3年目の今年は24店舗に増加。「今年も乳がんですね。がんばってね!」とフラワーショップで声をかけられたと、職員はキャンペーン活動が区内全体に広がり、定着しつつあると手ごたえを感じている。

当日は、フラワーショップのほか、(株)豊島園の協力のもと、としまえん前でもティッシュを配布する。「ピンクリボンin NERiMA」の会長の西貝圭子さん(区内在住)は、「母の日にキャンペーンをするのは、“お母さんの健康が家族の笑顔を作る。”という思いがあるから。キャンペーンを通じて、乳がん検診の大切さを届けたい」と話している。

【練馬区の乳がんの状況】

乳がんは女性のがん死亡原因の1位である。また、平成27年度練馬区の乳がんの年齢調整死亡率(75歳未満)は、人口10万人対12.9と、国(10.7)や都(11.5)に比較するとやや高めとなっている。一方で、練馬区の乳がん検診の受診率はこの数年微増を続けているものの、平成27年度は24.6%と未だ低迷しており、4人に3人が検診を受けていない状況である。

乳がんは、早期発見・早期治療で9割以上の方が治ると言われている。日頃から月1回の自己触診を行い、自分の身体に関心を持ち、乳がん検診を受けることが大切である。

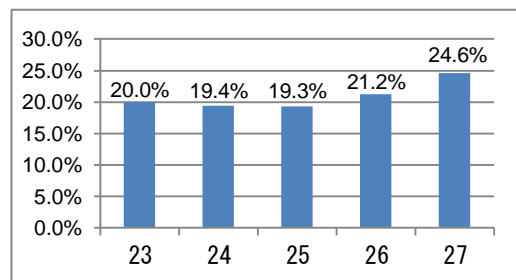


▲啓発メッセージ入りティッシュ

【ピンクリボンin NERiMA(旧:あけぼの-NERiMA-)とは】

(代表:西貝圭子 会員数:10人)

乳がんの早期発見・早期治療の大切さを伝える活動を行うため、乳がん患者会「あけぼの会」(全国組織:昭和23年発足)の練馬区在住メンバーを構成員に平成24年に発足した団体。今年度から団体名を「ピンクリボンin NERiMA」に改名した。



▲練馬区の乳がん検診受診率推移